

2025年度

生産性向上に向けた従業員教育のための

在職者訓練コースガイド

2025年4月～2026年3月



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部

港湾短大校神戸校

(港湾職業能力開発短期大学校 神戸校)



2025年度版 在職者訓練コースガイド

● お申込みからご受講までの流れ	1
● コース一覧	2～3
● 生産管理・物流管理コース	4～9
● 電気電子・回路設計コース	9～10
● ご利用者の声	11
● オーダーメイドコースのご案内	12
● 施設・設備のご利用について	13
● 生産性向上支援訓練のご案内	14
● 生産性向上支援訓練コースリスト	15
● 事業主推薦制度のご案内	16
● 会場ご案内	
港湾短大校神戸校 (港湾職業能力開発短期大学校 神戸校)	17
● 在職者訓練受講申込書	裏表紙

お申込みからご受講までの流れ



①お申込み

(FAXまたはE-mail)

本誌裏表紙の『在職者訓練受講申込書』に必要事項をご明記の上、当校あてFAXまたはE-mailでお申込みください。なお、『在職者訓練受講申込書』は当校ホームページよりダウンロードもできます。
※当校ホームページにExcel版、Word版の『在職者訓練受講申込書』がございますのでご利用ください。

②ご回答

受講可否につきましては、『在職者訓練受講申込書』にご記入いただきました連絡先へFAX等にてご回答をお送りします。

キャンセル待ちについて

「キャンセル待ち」となった方には定員に空きが出次第、電話またはFAX等にてご連絡をします。開始日までに連絡がない場合は、定員に空きが出なかったものとしてご了承ください。

③受講案内の送付

開始日3週間前

コース開始日の原則21日前までに郵送いたします。(開始日の10日前までにお手元に届かない場合は、お手数ですが当校までご連絡ください) 受講案内には、**受講票、請求書等**が同封されています。

※受講者を変更したい場合、同一の企業・団体内での申込みであれば、変更が可能です。この場合は、必ず電話連絡の上、FAXまたはE-mailでご連絡ください。

キャンセルについて

必ず**開始日の14日前(土日祝日を含む)までに**電話連絡の上、FAXまたはE-mailでご連絡ください。**14日を過ぎたキャンセルにつきましては、受講料を全額ご負担いただきますが、**後日コースで使用したテキストを送付いたします。

コースの中止について

定員に対し、コース開始日原則**14日前までに著しく受講者が少ない場合、コースを中止する**場合があります。中止の際はこちらから電話またはFAX等にてご連絡をいたします。

④ご入金

開始日2週間前

原則、**開始日14日前(土日祝日を含む)までに**ご入金をお願いいたします。受講料は、消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。

コースをキャンセルされる場合は必ず14日前までにご連絡をお願いいたします(左記「キャンセルについて」参照)。

※現金でのお支払いは受付けておりません。

⑤セミナー当日

在職者訓練コースガイドに明記されている持ち物をお持ちになり、お越しください。玄関ホールの案内板等にてコースの開催場所をご覧の上、会場をご確認ください。会場はコース開始時間の30分前から開いております。

なお、講師は原則、当校の指導員となりますが、一部外部講師が担当いたします。詳細につきましてはお問い合わせください。

アンケートのご協力について

全てのコースについて、受講者及びその事業主の方に対し、コース内容に関する満足度等についてのアンケート調査の回答をお願いしております。なお一部のコースにつきましては、後日、コース内容の活用状況についても同様をお願いしております。ご協力のほど、お願いします。

注意事項

下記の方の受講申込をお断りすることがございます。

- ・頻りにキャンセルされる個人、事業所等
- ・キャンセルのご連絡をいただけない個人、事業所等
- ・受講に際し、受講態度に何らかの問題があった個人、事業所等

お 申 込 先

港湾短大校神戸校(港湾職業能力開発短期大学校神戸校) 〒650-0045 神戸市中央区港島8-11-4

FAX 078-303-7335

E-mail:kobe-college03@jeed.go.jp

(個人情報をお送りいただくので、送信先相違のないようご注意ください。)

お問い合わせ先 TEL 078-303-7326

ホームページ:

港湾短大校神戸校

検索



コース一覧

分類	コース番号	コース名	頁	日数	実施時間	定員	受講料
生産管理・物流管理コース	C111	在庫管理システムの管理精度維持と進め方	4	2日間	9:30～16:30	15名	8,000円
	C112		4	2日間	9:30～16:30	15名	8,000円
	C121	製造業におけるデータベース活用技術	4	3日間	9:30～16:30	10名	13,000円
	C131	ロジスティクス・システムの設計と演習	5	2日間	9:30～16:30	15名	8,000円
	C132		5	2日間	9:30～16:30	15名	8,000円
	C151	実践貿易実務	5	2日間	9:30～16:30	20名	5,000円
	C152		5	2日間	9:30～16:30	20名	5,000円
	C161	実践貿易実務（書類作成編）	6	2日間	9:30～16:30	15名	5,000円
	C171	物流 ABC（活動基準原価計算）による倉庫管理	6	2日間	9:30～16:30	15名	8,000円
	C181	ものづくり企業の SCM とロジスティクス	7	2日間	9:30～16:30	15名	8,000円
	C191	港湾荷役技能者・技術者のための安全管理 （コンテナ編）	7	2日間	9:30～16:30	15名	5,000円
	C192		7	2日間	9:30～16:30	15名	5,000円
	C193		7	2日間	9:30～16:30	15名	5,000円
	C211	港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生	8	2日間	9:30～16:30	10名	7,500円
	C212		8	2日間	9:30～16:30	10名	7,500円
	C221	港湾運送業におけるドローンを活用した 安全衛生管理	8	2日間	9:30～16:30	10名	12,000円
	C222		8	2日間	9:30～16:30	10名	12,000円
	C231	VR を用いた安全教育教材の製作（AR 編）	9	2日間	9:30～16:30	10名	7,500円
回路設計コース 電気電子	C311	製造現場における LAN 活用技術（サーバ編）	9	2日間	9:30～16:30	10名	7,500円
	C321	有接点シーケンス制御の実践技術	10	2日間	9:30～16:30	10名	13,000円
	C322		10	2日間	9:30～16:30	10名	13,000円

実 施 日											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			2(水) 3(木)								
										17(火) 18(水)	
					30(火)	1(水) 2(木)					
			24(木) 25(金)								
										26(木) 27(金)	
					25(木) 26(金)						
											12(木) 13(金)
						15(水) 16(木)					
						8(水) 9(木)					
		12(木) 13(金)									
24(木) 25(金)											
		26(木) 27(金)									
						14(火) 15(水)					
						9(木) 10(金)					
											12(木) 13(金)
			28(月) 29(火)								
											16(月) 17(火)
											16(月) 17(火)
								18(木) 19(金)			
			30(水) 31(木)								
										18(水) 19(木)	

コース番号

C111

実施日

2025/7/2,3

コース番号

C112

実施日

2026/2/17,18

生産管理・物流管理コース

在庫管理システムの管理精度維持と進め方

訓練の目標

在庫管理の生産性の向上をめざして、最適化(改善)に向けた在庫管理システムの構築を通して、正しい在庫管理業務の意義と役割を認識し、在庫管理システムを機能させるために在庫管理精度を維持する方法や生産管理システムの計画情報との連動方法について習得します。

訓練内容

1. 企業における在庫政策
 - ・企業の業態に伴う在庫政策の違いほか
2. 在庫管理業務と管理システム
 - ・在庫管理の各業務と、管理システム機能ほか
3. 在庫管理システム事例
4. 在庫管理システム運営手法 (グループ学習)



受講料：8,000円 定員：15

持参品：筆記用具・自社在庫管理事例または管理システム事例

使用機器・使用ソフト：パソコン、表計算ソフト

コース番号

C121

実施日

2025/9/30,10/1,2

生産管理・物流管理コース

製造業におけるデータベース活用技術

訓練の目標

大量のデータをデータ管理ソフトで有効活用してみませんか？

大量のデータを保存し、必要に応じて抽出・検索を容易に行うことができるデータベースソフトを活用し、データを一元管理し、有効活用するためのデータベース構築技術を、実習を通して習得します。

訓練内容

1. コース概要
2. データベース概要及び設計
3. テーブルとリレーションシップの作成
4. フォームの作成とデータ入力
5. クエリ利用によるデータの加工
6. レポートの作成と印刷



受講料：13,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、データベースシステム (Access)、テキスト

コース番号

C131

実施日

2025/7/24,25

コース番号

C132

実施日

2026/2/26,27

生産管理・物流管理コース

ロジスティクス・システムの設計と演習

訓練の目標

原価管理/在庫管理における生産性の向上をめざして、効率化、最適化(改善)に向けたロジスティクス・システムに係るプロセスやコスト管理実習を通して、コスト・マネジメントの見地からロジスティクスを理解し、調達から生産、物流にいたるプロセスのロジスティクス・コストの最小化が実現できる手法を習得します。

訓練内容

1. ロジスティクス・システム
 - ・経営戦略、企業課題、ロジスティクスほか
2. ワークデザイン
 - ・リードタイム、在庫政策、ロジスティクス・コスト
3. ロジスティクス・プロセスの設計
 - ・業務フロー図、ものと情報の流れ図ほか
4. ロジスティクス・システムの設計と演習



受講料：8,000円 定員：15

持参品：筆記用具・対象としたい荷主業務に関する業務フロー図

使用機器・使用ソフト：パソコン、表計算ソフト

コース番号

C151

実施日

2025/9/25,26

コース番号

C152

実施日

2026/3/12,13

生産管理・物流管理コース

実践貿易実務

訓練の目標

貿易実務について全般的に知りたい方へ

貿易の流れや貿易取引固有の業務について、経験の浅い方が実務に役立てられる基盤となる知識を習得します。海貨業や国際物流業の方はもちろん、製造業において輸出入に係わる方にもおすすめです。

訓練内容

1. 貿易実務概要
2. 売買契約と代金決済
3. 貨物海上保険、貿易保険
4. インコタームズ
5. 貿易書類
6. まとめ



受講料：5,000円 定員：20

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン

コース番号

C161

実施日

2025/10/15,16

生産管理・物流管理コース

実践貿易実務(書類作成編)

訓練の目標

貿易実務の書類について理解を深めたい方へ

基礎となる貿易実務の知識に合わせて、一連の貿易書類について役割・読み方・作成の知識を習得します。国際物流業、製造業など輸出入に係わるが経験の浅い方が、基盤となる知識を習得できる内容です。

訓練内容

1. 貿易実務概要
2. 各書類の役割と必要知識
3. 貿易書類演習（読み取り）
4. 貿易書類演習（作成）
5. まとめ



受講料：5,000円 定員：15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン

コース番号

C171

実施日

2025/10/8,9

生産管理・物流管理コース

物流ABC(活動基準原価計算)による倉庫管理

訓練の目標

物流作業ごとの改善効果の可視化をしてみませんか？

原価管理／在庫管理の生産性の向上をめざして、物流作業の効率化、適正化、最適化(改善)に向けた物流ABCによる物流活動コストの把握及び無駄削減の理解を通して、物流データの分析手法及びコスト管理手法を習得します。

訓練内容

1. 物流ABC概要
2. 物流ABCの目的
3. 物流ABCの原理
4. コスト管理
5. 事例研究
6. まとめ

物流ABC：物流活動基準原価計算



受講料：8,000円 定員：15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン

コース番号

C181

実施日

2025/6/12,13

生産管理・物流管理コース

NEW

ものづくり企業のSCMとロジスティクス

訓練の目標

ものづくり企業の生産性の向上を目指して、事業観点・SCM視点から、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上の課題を把握し分析する手法および改善演習を通して、ロジスティクス分野で取り組むべき課題解決に必要な技能・技術について習得します。

訓練内容

- ものづくり企業のSCM
 - ものづくり企業を取り巻く環境変更に伴う企業経営
 - SCMとは何か、SCM強化による競争力向上
- SCMとロジスティクス
 - 企業経営とロジスティクスの位置づけ
 - 企業のロジスティクスの課題とその解決
- ロジスティクス業務の改善活動
 - 業務改善の進め方と改善好事例のご紹介
 - 課題抽出と要因分析(グループ学習)



受講料：8,000円 定員：15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン

コース番号

C191

実施日

2025/4/24,25

コース番号

C192

実施日

2025/6/26,27

コース番号

C193

実施日

2025/10/14,15

生産管理・物流管理コース

NEW

港湾荷役技能者・技術者のための安全管理(コンテナ編)

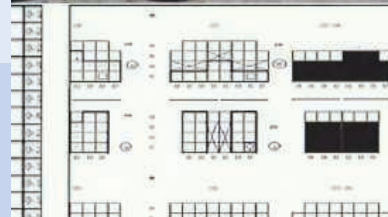
訓練の目標

プランの見方及びスタッカーの種類と数え方

コンテナ荷役する上で欠かすことができないプランの見方を理解するとともに、(スタッカー)等の緊締装置を種類や用途の違い別に準備できる知識を習得します。また、本船作業やヤード作業において、危険個所を理解し危険予知ができます。

訓練内容

- 神戸港の概要
- コンテナ荷役
 - (沿岸荷役作業)
 - コンテナターミナル内の主な施設と役割
 - 蔵置ベイの呼び名
 - (船内荷役作業)
 - プランの見方
 - ツイストロック(スタッカー)の種類と数え方
- 安全衛生管理
 - 沿岸荷役作業
 - 船内荷役作業



受講料：5,000円 定員：15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、プロジェクター

コース番号

C211

実施日

2025/10/9,10

コース番号

C212

実施日

2026/3/12,13

生産管理・物流管理コース

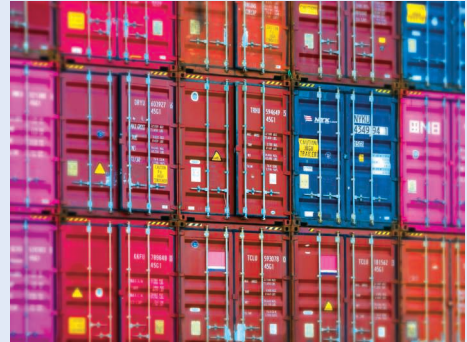
港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生

訓練の目標

港湾荷役における安全衛生の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた作業特性やヒューマンエラーの発生のメカニズムを理解し、リスクアセスメント現場演習及び危険予知・体験実習を通して、エラー低減に必要な防止策を策定する能力を習得します。

訓練内容

1. 労働安全衛生の意義
2. 労働安全衛生法と他の法律
3. 労働災害の発生状況
4. 港湾における労働災害事例から学ぶ
5. ヒューマンエラーを理解する
6. 労働災害要因分析（グループワーク）
7. リスクアセスメント（グループワーク）



受講料：7,500円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：—

コース番号

C221

実施日

2025/7/28,29

コース番号

C222

実施日

2026/3/16,17

生産管理・物流管理コース

港湾運送業におけるドローンを活用した安全衛生管理

訓練の目標

港湾地域についてドローンを飛ばすことを前提に、飛行に関する法律・ルールへの知識や、許可申請の方法などを習得します。また、ドローンの機体を用いて実際に操縦を行います。最後にドローンを用いた港湾現場での活用などを紹介します。

訓練内容

1. ドローンの基礎知識
2. ドローンの活用コスト
3. ドローンに関する法律・ルール（法改正を含む）
4. ドローンの許可申請
5. ドローンの飛行実習
 - (1)操縦時の注意点 (2)整備・点検 (3)操縦
6. ドローン技術を用いた安全衛生管理
7. まとめ・質疑応答

※ドローンの飛行実習については、屋内で行います。



受講料：12,000円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：ドローン

コース番号

C231

実施日

2026/3/16,17

生産管理・物流管理コース

NEW

VR を用いた安全教育教材の製作 (AR 編)

訓練の目標

安価に！手軽に！自社独自の動画教材の作成方法を学んでみませんか？

360度カメラで撮影した映像をAR(拡張現実)動画として、安価で実際の職場に即した効果的な、安全教育の教材作成能力を習得します。

訓練内容

1. 災害事例
2. ヒューマンエラーのメカニズム
3. 危険予知訓練
4. AR動画作成、視聴
5. まとめ



受講料：7,500円 定員：10

持参品：筆記用具、スマートフォンまたはタブレット

使用機器・使用ソフト：360度カメラ、VRゴーグル、パソコン、動画編集ソフト

コース番号

C311

実施日

2025/12/18,19

電気電子・回路設計コース

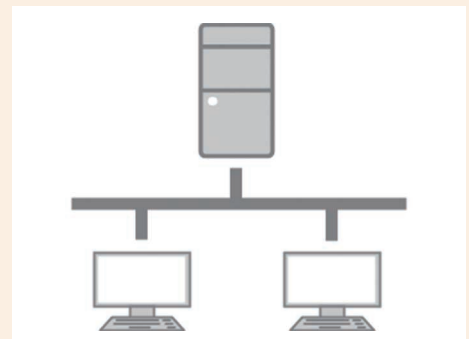
製造現場における LAN 活用技術 (サーバ編)

訓練の目標

製造業等の中小企業においてLANを活用し、作業の効率化・生産性の向上をめざして、LANに関する知識とLAN構築に関する技術を習得します。

訓練内容

1. ネットワーク概要
(ネットワークの概要とプロトコル、ネットワークの種類と構成他)
2. プロトコルの概要と設定
(Ethernetプロトコル、TCP/IPプロトコル他)
3. ネットワーク機器の役割
(ハブ、ルータ、スイッチ)
4. サーバOSの初期設定
5. クライアント/サーバ型LANの構築実習
(情報の一元管理、共有、転送)



受講料：7,500円 定員：10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、VirtualBox、Windows Server

コース番号

C321

実施日

2025/7/30,31

コース番号

C322

実施日

2026/2/18,19

電気電子・回路設計コース

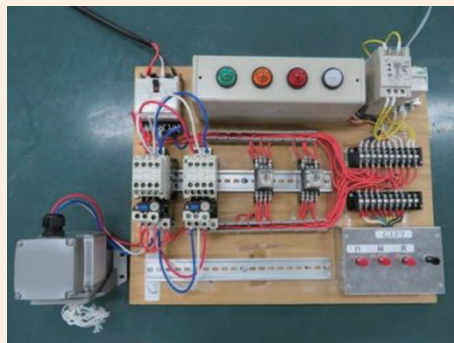
有接点シーケンス制御の実践技術

訓練の目標

有接点シーケンス制御の制御機器の種類と機能を理解し、電動機制御回路の配線作業を通して、制御盤組立の実務能力を習得します。

訓練内容

1. シーケンス制御の概要
2. 制御機器の種類と機能
(電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、その他制御機器)
3. 主回路と制御回路
(回路図の読み方、機器の配置と接続方法)
4. 配線作業
(自己保持回路、インターロック回路、限時運転回路、可逆運転回路)



受講料：13,000 円 **定員：10** **持参品：筆記用具**

使用機器・使用ソフト：配線用遮断器、電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、ランプ、電動機、テスタ、工具一式





コース名	ご利用者の声
<p>在庫管理システムの 管理精度維持と進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 課題解決のための考え方や手法について学ぶ事ができ、業務に活かせると考えています。(受講者様) ◆ システム導入により問題点などの解決につながる。(受講者様) ◆ 担当業務以外の改善方法を学ぶことができました。(受講者様) ◆ 適正在庫の考え方の向上が図れた。(事業主様)
<p>実践貿易実務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 貿易の全体的な流れを理解することができ、仕事の実務とのつながりを把握することができました。(受講者様) ◆ 書類の見方が分かった。(受講者様) ◆ 輸出入業務を実施のみで行ってきていたので、体系的に理解できた。(受講者様) ◆ 知識が向上したことで、業務がスムーズになりました。(事業主様)
<p>実践貿易実務 (書類作成編)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 作成書類の具体例があり、より分かりやすかった。(受講者様) ◆ 実際のドキュメントを活用した実践的なレクチャーであったので、体系的に整理ができ、理解度がより一層深まった。(受講者様) ◆ 専門的な授業なので、一から学ぶ事ができ、今後の業務に役立てていきたい。(受講者様) ◆ 貿易知識の向上による顧客満足度を高めることができる。(事業主様)
<p>製造業におけるデータベース 活用技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ データベースにまとめた情報を関係者が容易に見る事が出来ると感じた。(受講者様) ◆ 業務改善に役立てる事が出来る。(受講者様) ◆ 今までエクセルしか使用していなかったので、新たな管理システムの開発に役立てる。(受講者様) ◆ 業務担当者の対応できる業務の範囲が広がった。(事業主様)
<p>製造現場における LAN 活用技術 (サーバ編)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ サーバのことが全く分からない状態だったので、いい勉強になりました。(受講者様) ◆ 今まで理解できていなかった仕組みや今まで知らなかった設定を、体験することで知ることができました。(受講者様) ◆ 知識を習得する機会を得られ、教育不足となりうる項目を学ぶことができました。(事業主様) ◆ 社内ネットワークのトラブル解決につながった。(事業主様)
<p>有接点シーケンス制御の実践技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 保全業務を行っていますので、トラブル時や設備修繕時に役立つ知識を得ることができました。(受講者様) ◆ 何も知らない状態のスタートだったがシーケンスについて学べて良かったと思います。(受講者様) ◆ 普段やっていた作業の意味を考え問題の解決策を考えられるようになりました。(受講者様) ◆ 生産現場での電気あるいは機械的トラブルに対し自らか解決するのだという意識付けになった。(事業主様)

オーダーメイドコースのご案内

貴社のニーズに合わせた従業員の育成にご活用ください!!

港湾短大校神戸校では貴社のニーズ(内容・日程・時間・場所等)に合わせたオーダーメイドコースを実施しています。また、本冊子に掲載しているコースは原則オーダーメイドコースとして計画できます。(ただし、計画できないコースもございますので、予めご了承ください。)



オーダーメイドコースのメリット

- ◎ご希望の日程をご相談の上、コースの設定ができます。
- ◎事業主・事業主団体の皆様のニーズに対応した、効果的な人材育成が可能となります。
- ◎講師、機器、研修会場等の心配がありません。

オーダーメイドコース計画のポイント

- ◎会場は原則当校となりますが、別会場での実施を希望される場合はご相談ください。
- ◎定員は原則10名となりますが、**10名未満**の場合でも、**まずご相談ください**。
- ◎1コースの訓練時間は**12時間以上**です。(実施日、時間帯等の調整は可能です。)
- ◎受講料は、諸経費を含めてお一人様単位でご提示します。
(受講料は、本冊子に掲載している料金を参考にしてください。なお、振込手数料は、別途ご負担ください。)
※内容・日程等により、実施できない場合もございますのでご了承ください。

ご相談から実施までの流れ

- 1) お電話等いただければ、当校職員が貴社のニーズをお伺いしたうえで、オーダーメイドコースのカリキュラムを提案させていただきます。
- 2) 内容、実施日程、人数等が決まれば、経費(見積り)をご提案します。
- 3) お客様のご了解がいただければ、実施となります。



オーダーメイドコースの例

分類	コース名	内容
教育・安全	港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生	港湾荷役における安全衛生の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた作業特性やヒューマンエラーの発生のメカニズムを理解し、リスクアセスメント現場演習及び危険予知・体験実習を通して、エラー低減に必要な防止策を策定する能力を習得します。

・本冊子に掲載しているコースは原則オーダーメイドコースとして計画できます。(ただし、計画できないコースもございますので、予めご了承ください。)
・お一人様の受講料(税込)は、教材及び当校が定める諸経費を含めてご提示します。

受講者の声 (港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生)

- ・今回習ったことを部下に伝達し展開したいです。
- ・これまでも問題を解決してきましたが、新しく学んだ技能・技術で時間短縮できます。
- ・特性要因図やリスクアセスメントの手法を学ぶことができスキルアップになりました。
- ・特性要因図は知っていましたが、作成知識がありませんでしたので勉強になりました。
- ・知識を身につけることによって、行動が広がると思いました。
- ・過去に学んだ事はありますが、活かせていませんでした。今回、再認識し活用しようと思います。

施設・設備のご利用について



大教室



クレーン実習場



自動車等運転実習場

事業主や事業主団体の皆様が職業能力開発や人材育成を目的とした従業員教育や研修を実施される場合、教室などの施設及び実習場の設備・機器などが有料にてご利用いただけます。(当校が使用していない場合に、あらかじめ決められた教室や実習場等のみご利用いただけます。)

ご利用いただける施設・設備

施設・設備名称	使用料(1時間あたり)(税込)			備 考
	7～9月	12～3月	それ以外の期間	
大教室	100円/1H	100円/1H	50円/1H	収容人員 60名(視聴覚機器有)
会議室	100円/1H	100円/1H	50円/1H	収容人員 30名
クレーン実習場	1,150円/1H	1,200円/1H	450円/1H	
天井クレーン	1,250円/1H			クラブトローリー式 (運転室能力: 定格荷重5t、スパン14m)
視聴覚機器 プロジェクター等	50円/1H			
自動車等運転実習場	7,000円/1H			

※使用料は変更になる場合もありますのでご了承ください。
※別途1時間あたり750円(税込)の施設管理費が必要になります。

お申込み方法

1. ご利用を希望される場合は、事前に予約状況等についてお電話にてご確認ください。
2. 所定の様式(施設設備使用申請書)に必要な事項をご記入の上、お申込みください。『施設設備使用申請書』は当校のホームページからダウンロードできます。(港湾短大校神戸校 HP→事業主・企業の方へ→施設・設備等の貸出)
3. お申込み後、内容等をご確認の上、文書(「施設設備使用承諾通知・請求書」等)をお送りします。使用料はご使用日の一週間前までに当校指定の銀行口座にお振込みください。

ご利用時間

平 日 9:00～17:00 土日祝日 9:00～17:00

キャンセル

お申込みを取り消される場合は速やかにご連絡ください。(使用1週間前までのキャンセルについては返金いたします。それ以後のキャンセルについては返金は致しかねます。)

その他

ご使用の際の準備・後片付け・清掃等(現状回復)は会場責任者の方が責任を持って行ってください。状況によっては以後のご使用をお断りする場合がありますのでご注意ください。なお、当校に起因するものを除き、使用中の事故、トラブルについては一切責任を負いませんのでご注意ください。(使用上の注意については「施設設備使用承諾通知書」に記載してあります。)

生産性向上支援訓練のご案内

～人材育成を通じて企業の皆様の「生産性向上」を支援しています～

生産性向上支援訓練とは企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

訓練カリキュラム

・役割の変化への対応を学ばせたい
・ベテラン層に指導手法を学ばせたい
・ベテラン層のOJTスキルを向上させたい

・顧客満足度を向上したい
・消費者動向を営業に反映したい
・ネットを活用した販売促進をしたい

・従業員の業務効率化を図りたい
・リスク低減法を学びたい
・個人ノウハウを見える化したい

・現場の課題を見つけ、改善法を学びたい
・RPAを導入したい
・テレワークによる業務効率化をしたい

・データ集計を効率化したい
・マクロを使って自動化したい
・集客に繋がるHPを作成したい

- 生産・業務プロセスの改善
 - ・生産現場の問題解決
 - ・RPA活用
 - ・テレワークを活用した業務効率化 など
- 組織マネジメント
 - ・組織力強化のための管理
 - ・業務効率向上のための時間管理 など
- 売上増加
 - ・マーケティング思考の営業活動の分析と改善
 - ・提案型営業手法・実践 など
- 生涯キャリア形成
 - ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
 - ・効率的なOJTを実施するための指導法 など
- IT業務改善
 - ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
 - ・集客につなげるホームページ作成 など

生産性向上支援訓練で課題を解決!

生産性向上支援訓練のポイント

企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得

- ・生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意(全131コース('23.11月現在))
- ・企業ごとの課題やニーズに応じてカリキュラムをカスタマイズして実施

企業の課題に応じたオーダーメイド型訓練

- ・訓練は自社会議室で受講可能(※6人以上)(専門の講師を企業に派遣します)
- ・訓練日時も企業の要望に合わせて設定可能
- ・少人数からでも利用できるオープンコースも実施しています

受講しやすい料金設定

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円(税込)
- ・条件を満たす場合は人材開発支援助成金の利用が可能

※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。
※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

訓練受講までの流れ



担当者が企業訪問し、人材育成の課題や方策を整理します。



相談内容を踏まえ、課題やニーズに応じた訓練を提案します。



期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練受講となります。

A：生産・業務プロセスの改善

生産管理	048	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
	001	生産性分析と向上
	002	生産現場の問題解決
	003	生産性向上のための課題とラインバランス
	004	生産計画と工程管理
	005	サービス業における I E 活用
	DX 129	製造分野におけるDX推進
	006	原価管理とコストダウン
	DX 007	在庫管理システムの導入
品質管理	008	購買・仕入れのコスト削減
	DX 009	P O Sシステムの活用技術
	010	品質管理基本
流通・物流	011	品質管理実践
	053	サービスマネジメントによる品質改善と向上
	DX 015	3 P L と S C M
	DX 016	物流の I T 化
	DX 013	流通システム設計
	DX 014	物流システム設計
	DX 012	卸売業・サービス業の販売戦略
	DX 017	S C Mの現状と将来展望
	DX 018	クラウド活用入門
	バックオフィス	DX 019
DX 020		クラウドを活用したシステム導入
DX 021		I o T 導入に係る情報セキュリティ
DX 054		クラウドを活用した情報共有能力の拡充
DX 087		導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用
DX 083		テレワークを活用した業務効率化
DX 088		テレワーク活用
DX 130		経理業務の効率化につながるDXの実践
DX 056		I T ツールを活用した業務改善
DX 089		データ活用で進める業務連携
DX 090		失敗しない社内システム導入
DX 091		企業内で I T 活用を推進するために必要な技術理解
DX 092		企業内で I T 活用を推進するために必要なマネジメント
DX 117		DX (デジタルトランスフォーメーション) の導入
DX 118		ベンダーマネジメント力の向上
DX 093		I T 新技術による業務改善
DX 094		A I (人工知能) 活用
DX 095		ビッグデータ活用
DX 055		R P A を活用した業務効率化・コスト削減
DX 096	R P A 活用	
DX 119	DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進	
DX 120	データサイエンス入門	
131	GX (グリーントランスフォーメーション) の推進	
037	企業価値を上げるための財務管理	

B：横断的課題

組織マネジメント	DX 022	IoTを活用したビジネスモデル
	084	ダイバーシティ・マネジメントの推進
	DX 121	ビジネスとSDGs (持続可能な開発目標) の融合
	038	事故をなくす安全衛生活動
	023	個人情報保護と情報管理
	064	高齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築
	039	リスクマネジメントによる損失防止対策
	059	災害時のリスク管理と事業継続計画
	DX 040	e ビジネスにおけるリーガルリスク
	DX 057	ネット炎上時のトラブル対応
	024	ナレッジマネジメント
	025	知的財産権トラブルへの対応 (1)
	026	知的財産権トラブルへの対応 (2)
	058	現場社員のための組織行動力向上
	041	業務効率向上のための時間管理
	062	顧客満足度向上のための組織マネジメント
	060	企画力向上のための論理的思考法
	042	成果を上げる業務改善
	043	組織力強化のための管理
	061	職場のリーダーに求められる統率力の向上
	051	管理者のための問題解決力向上

組織マネジメント	044	プロジェクト管理技法の向上	
	052	プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理	
	065	継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割	
	085	従業員満足度の向上	
	086	ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上	
	097	ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善	
	DX 122	テレワーク業務における労務管理	
	DX 126	DX人材育成の進め方	
	127	物流現場のリーダー育成	
	128	ファシリテーションを活用した合意形成の効率化	
	生涯キャリア形成	066	中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成
		067	チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
068		後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割	
069		中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法	
070		S N S を活用した相談・助言・指導	
071		フォロワーシップによる組織力の向上	
072		経験を活かした職場の安全確保 (未然防止編)	
073		経験を活かした職場の安全確保 (対策編)	
074		クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有	
075		職業能力の整理とノウハウの継承	
076		職業能力の体系化と人材育成の進め方	
077		経験に基づく営業活動の見える化と継承	
078	効果的なO J T を実施するための指導法		
079	ノウハウの継承のための研修講師の育成		
080	作業手順の作成によるノウハウの継承		
081	若手従業員に気づきを与える安全衛生活動 (実施編)		
082	若手従業員に気づきを与える安全衛生活動 (点検編)		

C：売上げ増加

営業・販売	049	提案型営業手法	
	063	ビジネス現場における交渉力	
	050	提案型営業実践	
	DX 027	マーケティング志向の営業活動の分析と改善	
	DX 028	統計データ解析とコンセプトメイキング	
	DX 123	オンライン営業技術	
	DX 029	顧客分析手法	
	DX 045	顧客満足向上のためのC S 調査とデータ分析	
	マーケティング	030	実務に基づくマーケティング入門
		031	マーケティング戦略概論
		032	マーケット情報とマーケティング計画 (調査編)
		033	マーケット情報とマーケティング計画 (販売編)
	DX 046	インターネットマーケティングの活用	
価格・プロモーション	034	製品・市場戦略	
	035	新サービス・商品開発の基本プロセス	
	DX 036	プロモーションとチャネル戦略	
DX 047	チャンスをつかむインターネットビジネス		

D：IT業務改善

データ活用	DX 098	ワイヤレス環境に必要となる無線LANとセキュリティ
	DX 099	社内ネットワークに役立つ管理手法
	100	表計算ソフトを活用した業務改善
	101	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
	102	表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化
	DX 103	効率よく分析するためのデータ集計
	DX 104	ピボットテーブルを活用したデータ分析
	DX 105	品質管理に役立つグラフ活用
	DX 106	表計算ソフトを活用した統計データ解析
	107	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
	DX 108	データベースを活用したデータ処理 (基本編)
	DX 109	データベースを活用したデータ処理 (応用編)
情報発信	DX 110	データベースを活用した高度なデータ処理
	111	業務効率を向上させるワープロソフト活用
	112	相手に伝わるプレゼン資料作成
	113	集客につなげるホームページ作成
	DX 114	S N S を活用した情報発信
	DX 124	オンラインプレゼンテーション技術
セキュリティ	DX 115	脅威情報とセキュリティ対策
	DX 116	情報漏えいの原因と対応・対策
	DX 125	テレワークに対応したセキュリティ対策

※ 「DX」を付している訓練コースは、DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進に必要な知識・技能を習得するための訓練コースです。

事業主推薦制度のご案内

事業主推薦制度は、事業主からご推薦いただいた従業員の方々を対象とした入校試験制度です。

港湾短大校神戸校の港湾流通科・港湾技術科では、将来、港湾・貿易・物流分野で活躍する方々に当校の高度な教育訓練をご受講していただき、生産性向上に取り組む企業の人材育成を応援します。

【企業の人材育成ニーズ】

- ☑ 高校を卒業した社員にじっくりと教育訓練を受けさせたい!
- ☑ 若手・中堅社員に実践的な知識と技術を身につけさせたい!
- ☑ 将来、現場の責任者となるような人材を育てたい!



社員を港湾職業能力開発短期大学校神戸校 (略称：港湾短大校神戸校) へ

港湾流通科



取得可能な資格や免許

- 貿易実務検定 ● 通関士
- STC Associate(安全保障輸出管理実務能力認定試験)初級
- ビジネス・キャリア検定/3級ロジスティクス・オペレーション
- ビジネス・キャリア検定/3級ロジスティクス管理
- Microsoft Office Specialist(Excel)
- フォークリフト運転技能講習※1 ● 玉掛け技能講習※2

港湾技術科



取得可能な資格や免許

- フォークリフト運転技能講習※1 ● 玉掛け技能講習※2
- 移動式クレーン運転士免許
- クレーン・デリック運転士免許(クレーン限定)
- 大型特殊自動車運転免許
- 揚貨装置運転士免許

詳細は、港湾職業能力開発短期大学校神戸校
(略称:港湾短大校神戸校)

港湾短大校神戸校 学務課(078-303-7326)にお問い合わせください。

もて・みで・チャレンジ!
港湾短大校

港湾短大校神戸校 検索

※1 兵庫労働局長登録教習機関第200号

※2 兵庫労働局長登録教習機関第201号



港湾短大校神戸校

(港湾職業能力開発短期大学校 神戸校)

〒650-0045

兵庫県神戸市中央区港島8-11-4

TEL：078-303-7326 (学務課)

FAX：078-303-7335

メール：kobe-college03@jeed.go.jp

ホームページ：https://www3.jeed.go.jp/hyogo/college/

アクセス

■公共交通機関でお越しの方



○ポートライナー(神戸新交通)

- ・「神戸空港」行乗車、「医療センター」駅下車徒歩約10分
- ・「北埠頭」行乗車、「南公園」駅下車徒歩約15分



○神姫バス

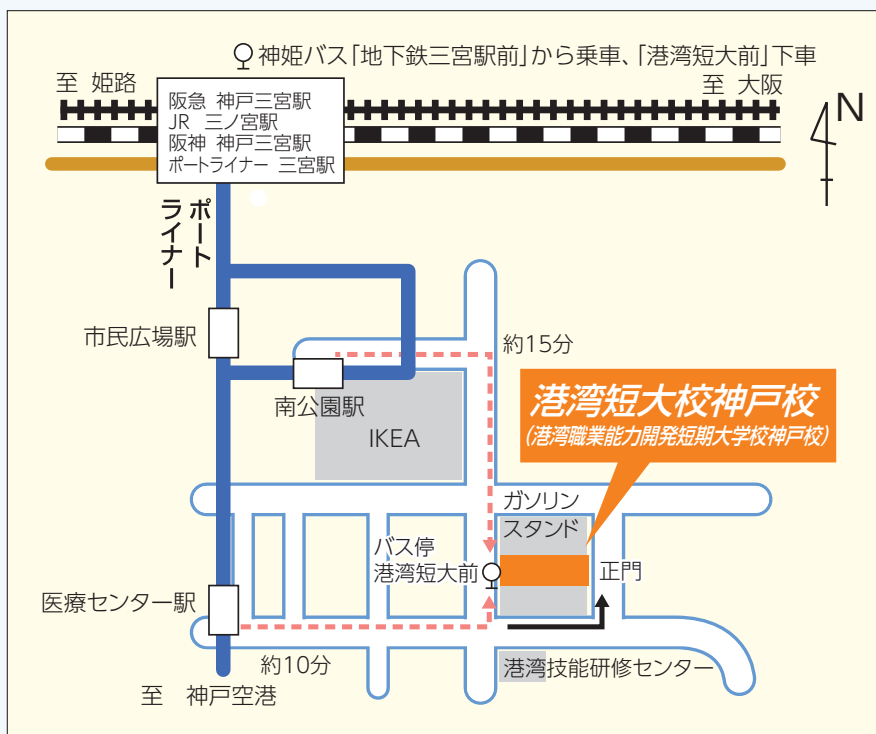
- ・「地下鉄三宮駅前」…JR三ノ宮駅中央口の北側、(神戸空港方面のバス)N4番乗り場から乗車、「港湾短大前」下車すぐ
注)バスをご利用される場合はご乗車前に「港湾短大前」バス停に停車するかどうかのご確認をお願いします。

■お車でお越しの方



・地図黒色線に従って、次の曲がり角で左折する。

※約100mで当校正門となります(駐車場あり)



在職者訓練受講申込書

港湾短大校神戸校 あて
 (港湾職業能力開発短期大学校神戸校)

FAX 078-303-7335

在職者訓練について、下記のとおり申し込みます。

年 月 日

記入例

コース番号	コース名	コース開始日	フリガナ		生年月日 (西暦)	就業状況※1	備考
			受講者氏名				
C411	機械設計のための総合力学	●月●日	コウワン	タロウ	19●●年 ●月●日	① 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	機械設計業務 8年
						1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
						1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
						1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

- ※1 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- 応募者が少ない場合はコースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合がありますので予めご了承ください。
 - 受講料は、消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。
 - コース開始日14日前(土日祝日含む)を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
 - 納入された受講料を他のコースへ振り替える(流用)ことはできません。
 - セミナーを実施するうえでの参考とさせていただきますため、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲で備考欄にご記入ください(例: 切削加工作業に約5年間従事)。

受講区分(該当に☑印)

会社 個人

● 「個人」でお申込みの方は「(2)個人でお申込みの場合」の欄に必ずご記入をお願いします。

(1) 会社からの指示による受講の場合

法人名	事業所名		
法人番号	(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体、 2. 個人事業主、 3. 個人		
ご連絡先	下記ご住所に受講票・請求書等をお送りします。また受講にあたってのご連絡はご担当者様あてにいたしますので必ずご記入ください。		
	会社ご住所 〒 -	所属部署名	
	ご担当者名	TEL	FAX
メール			
企業情報 該当に☑印	業種	社員数	
	<input type="checkbox"/> 金属製品製造業 <input type="checkbox"/> 非鉄金属製造業 <input type="checkbox"/> 一般機械器具製造業 <input type="checkbox"/> 電気機械器具製造業 <input type="checkbox"/> 電子部品・デバイス・電子回路製造業 <input type="checkbox"/> その他製造業 () <input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 建設・設備工事業 <input type="checkbox"/> 卸売業・小売業 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 1~29人 <input type="checkbox"/> 30~99人 <input type="checkbox"/> 100~299人 <input type="checkbox"/> 300~499人 <input type="checkbox"/> 500~999人 <input type="checkbox"/> 1000人以上	

● 会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケートへのご協力をお願いしております。

(2) 個人でお申込みの場合(受講書類、請求書等は下記のご住所にお送りいたします)

ご連絡先	お名前	ご住所 〒 -		
	TEL	FAX	メール	

【個人情報の取扱いについて】

※独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
 ご記入いただいた個人情報は在職者訓練の受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の在職者訓練や関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

機構 使用欄	処理D	処理E	返信	処理S
/	/	/	/	/

※訓練内容あるいは安全面などご不明な点がございましたらあらかじめご連絡ください。
 ※受講可否につきましては、ご記入していただきましたFAX番号宛にご回答を送付いたします。